

23．中・東欧諸国の政治経済日誌（2002年1月～12月）

2002年12月のコペンハーゲンでのEU加盟最終交渉で、ポーランド、チェコ、ハンガリーなど中・東欧8カ国の2004年5月からのEU加盟が承認された。また、経済改革が遅れていたルーマニアとブルガリアについても2007年の加盟を目指して加盟準備を加速させることになった。

2002年はこれら中・東欧諸国がEU加盟交渉の仕上げを目指して、加盟準備を精力的に進めた年であり、各国の法律のEUの法体系「アキ・コミュニテール」への適合をはじめ、各国のEU加盟に向けた制度改革、経済構造改革は大きく進展した。

中・東欧諸国のこうした動向を正確に把握しておくことは、わが国企業が今後この地域でビジネスを展開していくうえで極めて重要なことと考えられる。

こうした背景から、本書は、ポーランド、ハンガリー、チェコ、スロバキア、スロベニア、クロアチア、ルーマニア、ブルガリアの8カ国について、ジェットロ現地事務所からの「政治経済日誌」報告（2002年1月～12月分）を取りまとめたものである。